

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2022年 2月22日

事業所名: 児童発達支援センターくるみ園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。 配布数37世帯 回収数37世帯 回収率100%

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				35人	2人				
	2 職員の適切な配置		○		・規定の職員配置は行っていた。 ・年度途中での職員配置は行っていたが、業界全体の保育士需要の高まりから、余剰の配置ができなかった。	14人	12人	8人	3人	・昨年度は感じませんでしたが、今年度は専門性に疑問を感じました。 ・資格を所持して働かれているが、児童発達支援についての知識も少なく感じることが多かった。事前に研修や指導を通して専門性を高めてほしいです。 ・職員数は適切。しかし、支援力の格差が大きい。 ・職員の入れ替わりが多い1年でした。	・年度途中での職員の休職や配置転換にて、最後まで見通しを持った支援を維持することが叶わず申し訳ありません。職員のストレスマネジメントにも取り組みながら、1年を通してゆとりある職員配置を確保し、見通しのある保育展開が行えるよう、努めさせていただきます。 ・子どもの発達過程を理解したうえで、困り感を抱える子どもたちの発達特性に即した支援を提供しながら、子どもらしく育っていくお手伝いを行うことは児童発達支援の大きな役割です。研修体制を見直しながら人材育成に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			・内部研修及び、ケース会等を通して保育環境に関する協議を行っておりますが、今後も環境の構造化も含めた工夫に取り組んでまいります。	35人	1人		1人		子ども達が分かって動けるための保育環境づくりに今後も工夫を重ねていきたいと思えます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			毎日の清掃作業の繰り返しの中から、日々子どもたちが心地よく過ごせる環境が用意できるよう努めています。	34人	2人		1人		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			年間3回の職員面接及び、毎月の企画委員会等でボトムアップを図っております。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	○			令和元年度に受審し、指摘事項の改善に努めています。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保		○		・コロナ関係で、外部研修会が減少しております。次年度に向けて内部研修の充実を図りたいと思えます。						
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			・計画の作成に関する職員各々のスキルアップを図っていきたくと思えます。	31人	5人		1人		・個別支援計画はご本人、ご家族の思いからスタートします。本人を主語とした具体性のある計画と、ご本人がワクワクするような作成を目指したいと思えます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
別な 支援の 提供	2	○				31人	5人		1人		・児童発達支援ガイドラインに明記されている5領域30項目を意識して項目を設定させていただいております。
	3	○			サービス等利用計画から、事業所としての個別支援計画を具体的に作成し、短期目標を設定しています。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供 (続き)	4	○			・個別支援計画に則ったつながりのある支援を提供するように心がけておりますが、時としてマンネリ化した取り組みが感じられます。都度、修正して発達に特化した支援が提供できるよう努めております。	29人	4人	1人	3人	昨年は支援されていたことが、今年度支援されていなかったことがあります。	・お子さんの成長過程の中で、発達上継続した支援を行い続ける場合と、成長と共に減らしていくべき支援がございます。いずれにしても、母子プレーにて担当者と個別支援計画の見直しをご提案します。また、必要ならば児童発達支援管理責任者へもお声掛けください。
	5	○			発達支援計画「そだち」を年間目標として、取り組みます。						
	6	○			・時としてマンネリ化してしまう時があるようです。	29人	3人	1人	4人		・月ごとの計画案を作成しておりますが、年間を通すとマンネリ化や創意工夫が感じられないときがございます。そのような際には、都度職員ミーティングの中で見直しを行うようにしております。
	7		○		・家庭での過ごし方や、困り感を丁寧に聞き取る努力を行う必要があると思います。次年度に向けての課題としていきたいと思っております。						
	8	○			毎日の朝礼、終礼の中でも確認するようにしています。						
	9	○			・毎日の終礼や、学期ごとの振り返りで共有するように心がけております。						
	10	○			・毎年改善の見直しを行っております。						
	11	○			・定期的に実施と、必要に応じて適宜見直しを行っております。						
関係機関	1	○			・ふさわしい者が参画しております。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
との連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施										
関係機関との連携(続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			・移行のタイミングの際には全園見行っております。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○									
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○									
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	○			・合同保育、合同遊戯等があたりませんが、今年度はコロナウイルス感染対策により取り組めておりません。	21人	6人	7人	3人	・コロナ禍で行えなかった(他同意見多数)。	・インクルーシブを発展していく上でも、可能な限り地域の関係機関との交流活動を実施していきたいと思えます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			○	・コロナウイルス感染対策により実施できませんでした。						
保護者への説明責任	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			・入園説明会及び重要事項説明書の確認で、個々に行っております。	33人	4人			・利用者負担等に関しましては、利用契約時に詳細を皆様全員へ必ずご説明させて頂いております。また、月々の利用実績明細書等を必ずご確認ください。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			・個別懇談会にて行っております。	33人	4人			・この項目に関しましては、個別支援計画にあたりますが、懇談会の中や普段の母子プレー等の中で適宜見直し等行いたいと思えます。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
Ⅱ・ 連携支援	3	○			・母子プレーがあたりますが、内容に関しては、職員一人一人のスキル上の問題もあるようです。計画の立案から、現場での実践について、研鑽が必要と思います。努力項目として次年度の研修項目にも取り入れたいと思います。	21人	8人	2人	6人	・母子プレーが該当すると思いますが、母子プレーが行われていても内容が伴っていないように感じます。	・一番事業所として大切としている部分ではありますが、お子さんの発達にフィットした活動と相談対応にズレを感じている保護者さんが多いようです。愛着形成を育んでゆく上で非常に重要な取り組みでありますので、やはり職員の発達支援スキルを向上させるための最優先課題と認識致しております。
保護者への説明責任・ 連携支援（続き）	4		○		・この部分はしっかりと行うべき項目ですが、もっと丁寧に保護者の声に耳を傾ける努力を行いたいと思います。保護者の皆様方からは、十分な評価を頂けておりません。	25人	10人	1人	1人		
	5		○		・日々の相談対応がきめ細やかに行えていないようです。質問されても、先送りにしていたり、レスポンスをすぐに返せるように心がけたいと思います。	26人	9人	1人	1人	・面談はあるが、助言や支援が行われているかは疑問。担任の先生との面談では支援は得られていない。特別に他の先生と面談を設定して頂くと、得られるものが多くある。	・日々の子育ての中から生じる「困り感」をせっかくだと相談いただいたのに、腑に落ちる説明がなければ、益々不安は募るばかりかと思えます。子どもたちの発達特性を理解すること。そして好きな遊びを広げ、コミュニケーションに繋げていくための専門性を身に着けるべく、先にも述べましたが研修内容を見直したいと思えます。
	6	○			・コロナウィルス感染対策に重きを置く必要もあり、連携支援が十分に果たせていない現状がありました。	30人	5人		2人		
	7	○			・苦情受付体制は整備しており、苦情申し立てについては都度確認をしております。が、実際には「苦情」での処理ではなく、「意見・提案」までにとどまっております。各クラスは報告・連絡・相談を今一度必ず迅速に行うよう心がける必要があります。「意見・提案」にも迅速に対応できるよう心がけたいと思います。	24人	6人	4人	3人	・周知説明はされていないように思う。 ・苦情に対応してもらっても、また同じことがあった。	・入園児の契約及び重要事項説明書でご説明しておりますが、重ねてのご説明が必要と思われるので、次年度のクラス懇談会もしくは、園長講和の中で重ねてご説明させていただきます。尚、苦情受付窓口は契約書及び重要事項説明書に掲載されております通り、設置しております。児発管が窓口になっておりますが、苦情としての申し出ということであれば即受付を行い、対応協議ししかるべき対応をさせていただきます。 ・「苦情」として申請してください。窓口は児発管です。
8		○		・どちらとも言えないという保護者の皆様方からのご意見が多いことも事実です。情報伝達についての「ヒヤリハット」報告が多かった為、改善項目とさせていただきます。	25人	9人	1人	2人		・コロナの関係上、保護者との意思疎通や、情報伝達の機会が極端に減少しました。お便り帳や、母子プレー等の活用や今後工夫を重ねたいと思います。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	9	○				28人	5人		2人		未回答2名 ・緊急時連絡体制に関してはマックメールを軸に活用させていただきます。
	10	○			・クラス内では、お便り等の入れ間違いがあったようです。2重チェックと、帰る前の持ち物チェックの確認を行うなど、改善に向けて取り組んでいます。	31人	5人		1人		・毎年、個人情報取り扱い同意書を頂いておりますが、個人情報の開示が必要な場合は必ず、都度保護者の皆様方の同意書を取らせて頂いております。
非常時等の対応	1	○				32人	3人		2人		・高評価を頂いておりますが、マニュアル自体の配布を含めた周知の仕方を検討したいと思います。
	2	○				37人					・緊急時に備えた訓練、マニュアルの見直しは随時行っていきたいと思っております。
非常時等の対応（続き）	3	○			・1年間を通して内部研修で取り組んできました。						
	4	○			・個別支援計画への記載と見直し会議は3か月ごとに行っております。						
	5	○									
	6	○			・3か月1回、職員会の中でも報告会を行っております。						
	1					36人			1人		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
満足度	2 事業所の支援に満足しているか					25人	8人	4人		<p>・年少、年中時は満足していたが、年長の1年間は満足できにくい状況が多かった。</p> <p>・子どもが安心して、楽しく過ごせる場として満足しているが、療育・家族支援としては今年度は満足できるものではなかったと感じています。</p>	<p>・職員の定着と育成。並びに職員確保の課題が浮き彫りになりました。今後、安定した事業運営が果たせますよう、福祉業界としての魅力を法人としましても発信していきながら、すべての利用者、ご家族の皆様方がご安心してご利用いただける事業所を目指す所存でございます。事業所の支援力に関しましては、今後発達支援の専門職として、支援スキルを高めるためのOJT、OFF-JTの強化を今以上に図って参ります。</p>